

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		結城百選推進事業						予算事業名		結城百選推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				07	01	05	1103	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)							事業の区分		主要事業					
		3-4地域資源を活用してにぎわいと交流を促進する観光の振興(観光)									重点事業					
		①地域資源を活用した観光の振興							担当課係等		商工観光課					
1地域資源を活用した観光の振興							観光係									
事業期間		継続 (年度～ 年度)														
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
市民が選んだ名所・旧跡を観光スポットとして紹介するとともに、地区やテーマに応じた「おすすめコース」を多数用意し、着地型観光の振興につなげる。								21世紀記念事業として結城百選選定委員会を組織し、本市の名所・旧跡等から景観・風情を有する118ヶ所を選定。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
結城百選を有効活用するためサインなどが実施できることが望ましいが、季節限定や風景など漠然とした箇所とともに石碑未設置(設置困難箇所)などが存在する。 北部市街地の寺社等に関しては、既に観光ボランティアガイドによる案内に活用している。 近年では自転車観光も盛んになっていることから、これまで徒歩の観光客には紹介できなかった南部地域の場所についても(企画政策課が取り組んでいる「ちゃりさんぽ」と連動した)活用が可能であり、こちらを全面的に進めていく。								市民及び観光客								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								百選の石碑設置事業は終了(90ヶ所設置、28ヶ所は設置困難)している。 118ヶ所という数量から紙媒体のパンフレットだと観光に適さないサイズになってしまっている。 携帯端末の普及を勘案し、インターネットを活用した電子媒体のパンフレット(多言語対応)への移行も必要となっている。								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】								
商業観光振興計画に基づく事業推進。				商業観光振興計画に基づく事業推進。				商業観光振興計画に基づく事業推進。								
■事業費																
				H29年度		H30年度										
財源内訳	国庫支出金			0		0										
	県支出金			0		0										
	地方債			0		0										
	その他			0		0										
	一般財源			411		0										
歳入計(千円)				411		0										
歳出内訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)									
	11 需用費				411		0									
歳出計(千円)(A)				411		0										
伸び率(%)						皆減										
備考	総合計画106ページ 予算書128ページ															

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	散策イベント	回	目標	1.00	1.00	1.00
	観光ボランティア協会の自主事業として「結城百選巡り」を開催		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	結城百選巡り参加者数	人	目標	200.00	50.00	50.00
	参加者数		実績	12.00	0.00	0.00
	観光客数（定点＋施設）	人	目標	90,000.00	0.00	0.00
	観光動態調査のうち、祭事調査(5千人以上に限定)を除く、定点及び施設調査の合計数値を採用		実績	69,842.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	本市の名所・旧跡を観光資源としての活用とともに市民の郷土愛の育成と保存の目的として有効な事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	選定と石碑の修繕については行政が担い、管理を地域が担う。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	季節限定や風景などの漠然とした内容の箇所の取り扱いが困難。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	近年の観光PRの頻度から観光パンフレットの消費量も高くなっている。特に北部市街地を中心とした物や結城紬のパンフレットの需要が高いが、南部地域にも見どころがあり、百選パンフがちょうどよい。需要頻度が低いため効率的なストックを心掛ける。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内全域を網羅した事業である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	観光振興だけが当該事業の趣旨・目的ではないため、地域教育としての活用を所管部署で取り組んでもらいたい。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	石碑の設置は完了しているが、電子媒体のパンフレット作成など、いまだ手つかずの部分がある。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
現在ボランティアによるまち案内に活用されているほか、企画政策課が取り組む「ちゃりさんぽ」により観光の広域化などの展開の余地がある。 また紙媒体のパンフレットは掲載数量の関係で大型化してしまうことから手持ち資料としてなじまない部分もあることに加え、シティブロモーションなど観光PRの機会も増加していることから観光パンフレットの消費増加しているが、汎用性の低い当該パンフレットは後回しになりがちである。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
既存石碑の一部回収による当該事業の電子媒体化を検討する。 その前段として「ちゃりさんぽ」事業において「百選巡りコース」を作成する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 地区の自慢的な案件もある事から、全体をPRする施策としては難しいが、北部市街地以外にも観光スポットがあるので、ボランティアガイド協会などにより継続して実施していく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	